

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年2月

計画の名称	活火山「浅間山」と共生する町「軽井沢」の人命と暮らしを守る火山防災減災対策推進計画（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付の対象	軽井沢町												
計画の目標	<p>軽井沢町は国内でも有数の活動的な火山である浅間山の麓に位置しているが、近年は町の多くが別荘地として開発され、町内全域に別荘、常住者問わず住民が分布している。併せて、観光地としても年間を通じて需要があり多くの観光客が国内外より訪れている。このような状況であることから、浅間山の噴火の際は甚大な被害が予想されその被害を最小限に食い止めることが行政に求められている。</p> <p>このことから、防災道路の新設及び緊急輸送路の安全確保を軸とした総合的な事業を計画し、軽井沢町の防災・減災対策を行いたい。事業計画策定にあたっては、利根川水系砂防事務所の実施する事業計画を踏まえ、最も発生が懸念される融雪型火山泥流及び30年以内に発生すると想定される大規模地震に対して防災・減災に資する事業を計画する。併せて、平成26年2月の豪雪災害では除雪作業が難航し交通網が機能しなかったことを教訓に風雪災害にも対応できる事業計画とする。</p>												
計画の成果目標（定量的指標）	避難路及び緊急輸送路を整備し火山噴火に起因する災害（降灰、融雪型火山泥流等）発生時の被害を減ずる。耐震補強及び避難路を整備することで地震による災害時の交通ネットワークを確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	645百万円	A	645百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0.0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H31末
1	安全に避難可能な道路延長の割合を0%（H26当初）から100%（H31末）にする。 安全に避難可能な道路延長により算出。 指標の算出＝事業により整備する道路延長／安全に避難可能な路線延長	0%	—	100%
2	災害発生時に国道18号線の代替機能を発揮する道路延長の割合を0%（H26当初）から100%（H31末）にする。 災害発生時に国道18号線の代替機能を発揮する道路延長により算出。 指標の算出＝事業により機能を発現する道路延長／国道18号線の代替路線延長	0%	—	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施期間

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> ・軽井沢町公共事業評価委員会・軽井沢町公共事業監視委員会設置要領に基づき、公共事業評価委員会及び公共事業監視委員会を設置・運用した。 ・各委員会により、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともにその要因を分析し、事業によって従前の課題がどのように改善されたか、又は新たに生じた課題についても検証し、今後のまちづくりの方針を策定した。 	令和2年度	
	公表の方法	
軽井沢町ホームページにて公表		

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・I-37号線借宿バイパス線・借宿（町道借宿バイパス線）及び2-1266号線・風越の整備が完了したことにより、安全に避難可能な道路延長の割合が100%となり、目標を達成した。 ・I-37号線借宿バイパス線・借宿（町道借宿バイパス線）及び2-1266号線・風越の整備が完了したことにより、災害発生時に広域移動を含めた国道18号の代替機能を発揮する道路延長の割合が100%となり、目標を達成した。
<p>定量的指標以外の交付対象事業の効果の 発現状況（必要に応じて記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・借宿地区は、国道18号の渋滞を避けた通過交通が集落地内に流入し交通事故の危険性が指摘されていたが、I-37号線借宿バイパス線・借宿（町道借宿バイパス線）の整備が完了したことにより、集落地内を通過する交通量が大幅に減少し、安全性が向上した。また、同路線の整備により、御代田方面から町役場までの通勤時間が短縮されたことが確認されており、自動車の旅行速度の向上により、二酸化炭素の削減にも貢献していることが想定される。 ・2-1266号線・風越（町道女街道1号線交差点改良）の整備が完了したことにより、風越方面からの大型車の通行が容易になり、避難所である総合体育館への物流機能が向上し、災害時における緊急輸送路としての機能の充実が図られた。

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・整備された町道借宿バイパス線等の道路の適正な維持・管理により、災害時における交通ネットワークの充実を図る。 ・災害時における人命の安全確保に加え、平時における自動車交通や歩行者などの安全な交通環境の形成を図る。 ・町道借宿バイパス線の整備により借宿地区内の通過交通は減少したが、同路線にアクセスする信濃追分駅から西側の県道の交通量が増加しており、交通安全上の観点から必要に応じた拡幅や交差点改良については、関係機関と協議の上、早期の完了を目指していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値/実績値	目標値と実績値に差が出た原因
1	安全に避難可能な道路延長の割合	
	最終目標値	100%
2	災害発生時に国道18号線の代替機能を発揮する道路延長の割合	
	最終目標値	100%
	最終目標値	
	最終実績値	
	最終目標値	
	最終実績値	
	最終目標値	
	最終実績値	

計画の名称	1 活火山「浅間山」と共生する町「軽井沢」の人命と暮らしを守る火山防災減災対策推進計画（防災・安全）		
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	軽井沢町



1-A-1 I-37号線借宿バイパス線・借宿(町道借宿バイパス線)

新設区間造成工事



国道18号線横断部工事



1-A-2 2-1266号線・風越(交差点改良)

整備の状況

